

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	病態の芽チェックリストを全職員へ配布し回収。自己評価を行ってもらい分析した結果、ご利用者への『子ども扱い』『ちゃん呼び』『ちょっと待って』など自覚なく行っている不適切なケアが潜在的に残っている。	細かい部分ではあるが、ご利用者の権利を守る為にも、職員に理解してもらい正しい知識を習得し、ご利用者おケアに努めてもらうよう引き続き勉強会を通し指導していきたい(身体拘束ゼロを継続していく)	職員が入れ替わる5月とその半年後11月に『高齢者権利擁護に関する勉強会』を具体的例を交えながら実施し理解を深めていきたい。必要があれば、その都度同様の勉強会を実施していく。	6ヶ月
2	10	家族との連携、意見交換など不定期に行ってはいつもの満足のものではない。コロナの影響もあるが、一つは職員不足の影響もあり、密に行えていなかった経緯もある。	今年度より職員も増え、日墓のケアも充実しているため、職員に現状を伝え作業を分担することにより、家族への連携も密にとり希望等を吸い上げて行けるようにしたい。	広報を2ヶ月に一度発行、写真と手紙を添え家族に送ったり、現状を伝え面会を勧めるなど、家族に密着した環境づくりを構築していく。また面会時に家族でゆっくりできるスペースづくりを進める。	6ヶ月
3	11	職員不足から充実した施設運営が行えていなかった。職員にも余裕が見られず、職員間、ユニット間の交流もなかった。現在は職員も増えユニット間の交流も増えてきて、ようやく落ち着きを取り戻した。	職員間、ユニット間の交流が増え、意見の交換も出来るようにしたい。また、働きやすい職場環境づくりにも常に取り組み充実した施設運営を進めていく。	月1回の職員会議や勉強会を行っていく。また管理者と職員のズレも修正するため、職員面談も定期的に行い、要望を吸い上げると共にストレス軽減を図り、適切な施設運営に生かしていく。	6ヶ月
4	26	現在ケアマネ不足で、ケアプラン作成が滞っている。	ご利用者の計画自体は途切れないように担当者とも話し合いを行いながら、充実した生活を送ってもらえるようにケアを行う。そして引き続きケアマネ確保に努める。	ケアマネ確保に向け、行政にも相談しながら出来るだけ早い正常な施設運営を進めていきたい。ご利用者の計画は途切れないように職員一同一丸となってケアに取り組んでいく。	6ヶ月
5	49	コロナの影響と職員不足も加わり、時期的なバスハイクなどは行っていたが、日常的な外出支援が殆ど出来ていなかった。	職員も増えたことで担当を付け外出の機会を増やし、ご利用者から行きたい場所等も聞き取り調査を行い、要望に沿った外出支援を進めていきたい。	外出できる日取りを決め、担当者による企画書の作成、実施、写真撮影、外出後の反応など記録に残していく。また、広報にも載せ、家族へもお知らせする。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。